

仕様書

第1 件名

国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備

第2 概要

本整備は、国立劇場おきなわ小劇場において小劇場音響設備全体を安全かつ円滑に運用できるようにするものである。音響調整卓、パワーアンプ、スピーカー類の更新、それに伴うネットワーク回線等の配線敷設や周辺機器の更新、インフラ整備とコネクター盤の改造及び備品類の整備を行う。

第3 納入場所

沖縄県浦添市勢理客四丁目 14-1

国立劇場おきなわ構内

第4 納入期限

令和9年3月31日

第5 構成

- 1 音響調整卓
- 2 モニタースピーカー
- 3 音響用モニターディスプレイ
- 4 制御機器類
- 5 I/O バッチ盤架
- 6 機器収納架
- 7 パワーアンプ架
- 8 サウンドデーターベース架
- 9 プロセニアムスピーカー
- 10 サイドスピーカー
- 11 固定 FB スピーカーA（舞台袖）
- 12 固定 FB スピーカーB（舞台袖上）
- 13 エアモニターマイク
- 14 舞台袖操作架改造（舞台下手袖）
- 15 コネクター盤類改造
- 16 インカムコネクタープレート更新
- 17 移動型音響調整卓

- 18 移動型 I/O ボックス
- 19 移動式小型スピーカー
- 20 移動式サイドスピーカー
- 21 インターカム装置
- 22 上手袖カメラ
- 23 ケーブル・保守部品類

第 6 構成内訳

各構成の仕様は以下のとおりである。また、機器リスト、音響システム系統図 1 及び 2、特型図面-1 から特型図面-5 まで並びに特型品目説明書は、本仕様書に附属する書類として仕様書と一体に取り扱う。

1 音響調整卓

- ア サンプリングレート 96kHz 動作時において、32 入力、16 出力以上の物理インターフェース、インプットチャンネル 120ch 以上、MIX バス 48 以上、マトリクスバス 12 以上、デジタルオーディオネットワーク 140in 以上 / 140out 以上、タッチパネル操作画面 2 面以上を備えたデジタルミキシングコンソールを 1 台装備すること。
- イ 当該デジタルミキシングコンソールとシームレスに連携し、ユーザー定義キーおよびフェーダー拡張機能を有する専用の拡張コントローラーを 1 台装備すること。
- ウ Dante（又はこれと同等以上の機能を有するデジタルオーディオネットワーク規格）入力(96kHz)から MADI 出力（サンプリングレートコンバーター搭載、48kHz 出力）コンバーターを 1 台装備すること。
- エ 32ch、MADI 入力対応のバーグラフメーターを 1 台装備すること。本製品はデジタルミキシングコンソールの直近に配置すること。配置に必要な特型の取付金具を 1 組用意して設置すること。
- オ 特型の調整卓置台を 1 台用意し、設置すること。置台の寸法は幅 1,660mm × 奥行 825mm × 高さ 680mm 程度（現況の置台の実測による参考値）を目安とすること。置台の高さは舞台面へのサイトラインを考慮し、協議の上決定すること。
- カ 各機器とネットワーク接続ができること。また、ネットワーク接続には二重以上の冗長性（Primary/Secondary）を持たせること。
- キ 外部制御ソフトウェア（後述の機器収納架等の制御プロトコルと同一のエコシステム）による統合監視・制御に対応していること。

2 モニタースピーカー

- ア 周波数特性が平坦であり、位相特性に優れた同軸またはそれに準ずる構造の 3Way パワード型スタジオモニタースピーカーを 2 台設置すること。最大再生音圧レベルは 104dB 以上、周波数特性は 45Hz～37kHz (-6dB) とする。
- イ スピーカーメーカー純正の取付金具（パイプ取付用、又はこれと同等以上のもの）を 2 台用意して設置し、落下防止対策を講じること。取付先パイプの外径は約 48.6mm であるが、受注者は施工前に現地確認のうえ、必要に応じてスペーサー等により確実に固定すること。

3 音響用モニターディスプレイ

- ア FULL HD 対応のメーター表示モニター及びマルチプロセッサ用モニターを各 1 台装備すること。
- イ 各モニターは 24 時間連続使用に対応した業務用の市販品とすること。取付金具は市販品の自立スタンド式とし、1 台のスタンドに 3 面のモニターを取付できるものとすること。取付方式は VESA 規格に対応し、キャスター付とすること。うち 1 面は縦置き設置に対応できるものとすること。設置形態は現況のディスプレイスタンドを参考とし、その概寸は支柱高さ約 1,520mm、上段の横バー（モニター 2 面用）が床上約 1,450mm で長さ約 700mm、中段の縦置き用マウントが床上約 900mm、ベース幅約 680mm×奥行約 640mm である。設置高さは音響調整卓からの視認性及び舞台面へのサイトラインを考慮し、発注者と協議のうえ決定すること。詳細は納入仕様書（第 7. 以下「承認図書」という。）によること。

4 制御機器類

- ア アンテナ内蔵のワイヤレス LAN アクセスポイントを 2 台設置すること。設置場所は客席側バルコニー及び舞台下手袖操作盤付近とし、いずれも壁面等へのビス止めにより固定すること。
- イ タブレット PC は、画面 13 インチクラス、ストレージ 128GB 以上、無線 LAN（Wi-Fi 6 以上）に対応し、専用保護ケースを付属したうえで、音響調整卓のリモートコントロール用ソフトウェアが安定して動作する性能を有するものを 2 台装備すること。
- ウ 制御用パソコンは、ノート型を 1 台及びデスクトップ型を 1 台装備すること。いずれも Windows 11 Pro（又はこれと同等以上の機能を有する OS）を搭載し、CPU は 8 コア以上、メモリは 32GB 以上、ストレージは SSD 512GB 以上、有線 LAN（1000BASE-T）ポートを備え、本設備の音響機器制御に必要な各ソフトウェアの動作要件を満たすこと。ノート型は画面

14 インチ以上とし、デスクトップ型にはディスプレイ、キーボード及びマウスを含むこと。

- エ ワイヤレス LAN アクセスポイントは、Wi-Fi 6 (IEEE 802.11ax) 以上の通信規格に対応し、高速かつ安定した接続が可能なエンタープライズ向けアクセスポイントとし、タブレット PC は十分な描画性能と堅牢性を有する 13 インチクラス (128GB 以上、ケース付) とすること。

5 I/O パッチ盤架

- ア 既設の I/O パッチ盤架について、回線名称の変更及びコネクタの追加を行う改造（特型）を 1 架実施すること。詳細は音響システム系統図 1 及び特型図面-4 を参照すること。また、施工にあたっては既設の I/O パッチ盤架の現状を確認すること。

6 機器収納架

- ア サンプリングレート 96kHz での処理能力を有し、デジタルオーディオネットワーク Dante（又はこれと同等以上の機能を有するもの）に準拠かつ既存設備に導入されている主要なデジタルオーディオネットワークプロトコルとのシームレスな相互接続性、および冗長化通信機能を備えたネットワーク規格の入出力（標準 64×64 以上）に対応したデジタルマルチプロセッサを 1 台装備すること。内部は自由な信号経路や処理を組み合わせができるフリーコンフィグレーションタイプとし、本施設の運用に合わせた信号処理や経路の設定と、既設と同等なユーザーコントロール画面作成も含むこと。
- イ アナログ 8 入力／4 出力／4Frax、上記同等の要件を満たすデジタルオーディオネットワーク規格 16 入力／16 出力に対応したエアモニ用ミキサーを 1 台装備すること。内部は自由な信号経路や処理を組み合わせができるフリーコンフィグレーションタイプとし、本施設の運用に合わせた信号処理や経路の設定も含むこと。
- ウ 特型のパッチパネルを 1 面装備すること。回線構成は音響システム系統図 1 に、外形は特型図面-2 によること。
- エ 音響システム全体の電源統括管理、各スピーカーの出力 ON/OFF 制御、開演ブザー操作ができるネットワーク対応の特型のシステムリモートパネルを 1 台装備すること。
- オ 各パワーアンプの出力レベルを一括表示できる特型のメーター表示ユニットを 1 台装備すること。画面表示レイアウト作成も含む。
- カ EIA 2U ラックマウント型の無停電電源（UPS）を 1 台装備すること。

- キ AC100V、ネットワーク対応の電源制御部を1台装備すること。
- ク 制御架用の特型端子部を2面装備すること。回線構成は音響システム系統図1に、外形は特型図面-2によること。
- ケ 既設のEIA規格特型収納架3架について、架自体は再利用とし、必要な改造（ケーブル交換や追加、ブランクパネル追加等）を行うこと。外形は特型図面-2による。各架の有効高さは45Uである。
- コ 各機器とネットワーク接続ができること。また、ネットワーク接続には二重以上の冗長性を持たせること。
- サ 配管配線とすること。

7 パワーアンプ架

- ア サンプリングレート 96kHz 動作時において、32ch 以上の入力、32ch 以上の出力を備え、かつ入出力カード4枚の取付に対応した入出力ボックスを1台装備すること。
- イ AES/EBU 8ch の入出力カードを3枚装備すること。
- ウ DSP 搭載、1000W×4、20A の高出力かつ高度な保護回路を有するアンプリファイド・コントローラー（パワーアンプ）を5台装備すること。うち1台は移動使用に対応するため、当該アンプリファイド・コントローラーを安全に収納・搬送できる堅牢なハードケースを1台付属すること。後述するプロセニアムスピーカー・サイドスピーカー・移動式小型スピーカーと完全互換すること。
- エ 300W×8、Dante（又はこれと同等以上の機能を有するデジタルオーディオネットワーク規格、96kHz）に準拠し既存プロトコルと相互接続可能なネットワーク規格対応のパワーアンプを2台装備すること。
- オ 特型のパッチパネルを1面装備すること。回線構成は音響システム系統図1に、外形は特型図面-3によること。
- カ 24ポート以上のエンタープライズ向けギガビット LAN スイッチ（インテリジェント L2）を2台、及び24ポート以上のギガビット LAN スイッチ（スタンダード L3）を1台装備すること。それぞれ Web-GUI による可視化機能を搭載し、グラフィカルな画面での設定や状況確認が可能なこと。
- キ 2U、アクリルカバー付の特型取付金具を3台用意して設置すること。
- ク 音響システム全体の電源や出力制御などの集中信号処理を行う特型の統合制御部を1台装備すること。制御プログラムの作成も含む。
- ケ 各パワーアンプの出力レベル信号を集中処理する特型のメーターディストリビューターを1台装備すること。
- コ ネットワーク対応のスピーカー出力制御部を3台装備すること。

- サ AC100V、ネットワーク対応の電源制御部を2台装備すること。
- シ PA 架用 32ch の特型端子部を2面装備すること。
- ス EIA 規格の特型収納架を2架装備すること。架自体は再利用とし、必要な改造（ケーブル交換や追加、ブランクパネル追加等）を行うこと。外形は特型図面-3による。各架の有効高さは45Uである。
- セ パワーアンプ架1及び2の下部に、EIA 規格に適合したラックマウント用の棚板（1U）を各1枚（計2枚）装備すること。奥行は350mm程度（架内上部の配線経路を確保するため）とし、耐荷重20kg以上とすること。
- ソ 各機器とネットワーク接続ができること。また、ネットワーク接続には二重以上の冗長性を持たせること。
- タ 配管配線とすること。

8 サウンドデーターベース架

- ア 既設のサウンドデーターベース架について、内部既設機器を撤去し、架の有効高さ45U（EIA 規格）分の全面に新設のブランクパネルを取付けること。外形は特型図面-3による。

9 プロセニアムスピーカー

- ア 最大音圧レベル（Peak）136dB 以上、周波数特性 59Hz～20kHz、LF12 インチ、HF3 インチ、指向角度 90° x60° を満たし、点音源特性に優れた同軸構造を有する高品位スピーカーを2台設置すること。本調達のパワーアンプ架に含まれるアンプリファイド・コントローラーと完全互換すること。
- イ 特型の取付金具を2組用意して設置すること。また防振及び落下防止措置をとるとともに、スピーカー背面はフェルト素材等を用いて遮光処理も行うこと。スピーカーは施工後に角度微調整が可能な金具構造や施工方法とする。

10 サイドスピーカー

- ア 水平指向特性 140 度以上の広角なカバレッジと、最大音圧レベル(Peak) 137dB 以上、MF5 インチ x6、HF1.75 インチの性能を有し、劇場の美観を損なわないスリムなコラム形状またはアレイスピーカー構造を有する 2Way スピーカーを2台設置すること。
- イ 特型の取付金具を2台用意して設置すること。
- ウ 本スピーカーへの配線は新設すること。

- 11 固定 FB スピーカーA（舞台袖）
 - ア 舞台袖に、最大音圧レベル(Peak) 119dB 以上、水平指向性 100 度以上、LF4 インチ x4、HF1 インチを満たすコンパクトなコラム型スピーカーを 2 台設置すること。
 - イ 特型の取付金具を 2 台用意して設置すること。
 - ウ 本スピーカーへの配線は新設すること。

- 12 固定 FB スピーカーB（舞台袖上）
 - ア 舞台袖上に高耐入力 of 10 インチ 2Way フルレンジスピーカーを 2 台設置すること。指向角は 90° x60°、最大再生音圧レベルは 123dB 以上とすること。
 - イ 特型の取付金具を 2 台用意して設置し、落下防止対策を講じること。
 - ウ 本スピーカーへの配線は新設すること。音響調整室（パワーアンプ架）からの参考距離は、下手約 40m、上手約 30m である。

- 13 エアモニターマイク
 - ア バルコニーに、フラットな周波数特性を持ち、 $\phi 14\text{mm}$ ダイアフラム、ハイパスフィルター（80Hz、18dB/oct）、電波 RF 対策を強化したコンデンサー型超指向性のマイクを 2 本設置すること。
 - イ 特型の防振型取付金具を 2 台用意して設置すること。
 - ウ マイクの設置に必要な 3m のマイクケーブルを 2 本装備し、既設のエアモニターマイク回線への結線まで行うこと。

- 14 舞台袖操作架改造（舞台下手袖）
 - ア 16 入力、8 出力、ヘッドホン端子付、音響調整卓との接続連携が可能な入出力ボックスを 1 台装備すること。詳細は音響システム系統図 2 のトークバック設備系統図を参照すること。
 - イ 8 ポート以上のギガビット LAN スイッチ（インテリジェント L2）を 3 台装備すること。うち 1 台は PoE 対応、他 2 台は非 PoE 対応とすること。音響調整室配置の LAN スイッチと接続し、Web-GUI による可視化機能を搭載し、グラフィカルな画面での設定や状況確認が可能なこと。
 - ウ 3U、アクリルカバー付の特型取付金具を 1 台用意して設置すること。
 - エ 1U の特型パッチパネルを 1 面装備すること。
 - オ ラインレベル 16ch 入力・16ch 出力、デジタルオーディオネットワーク Dante（又はこれと同等以上の機能を有するもの、96kHz）に対応したアナログ/デジタルオーディオネットワーク変換用のコンバーターを 1 台装

備すること。

- カ 150W×8、Dante（又はこれと同等以上の機能を有するデジタルオーディオネットワーク規格、96kHz）に準拠し既存プロトコルと相互接続可能なネットワーク規格対応のパワーアンプを1台装備すること。
- キ 音響システム全体の電源統括管理、各スピーカーの出力 ON/OFF 制御、開演ブザー操作ができるネットワーク対応の特型のシステムリモートパネルを1台装備すること。
- ク 既設スピーカー出力制御部やパワーディストリビューターの制御を行うための特型制御インターフェースを1台装備すること。
- ケ 楽屋系、楽屋通路系、スタッフ系、事務所系、調光トークバック系、機構トークバック系、フォロースポット室、調光室モニターの音量調整ができるウォールマウントコントローラーを1台装備すること。
- コ メロディやブザーなど複数種類の音源を内蔵した開演ブザー装置を1台装備すること。システムリモートパネルやチャイムリモート SW からの遠隔操作に対応すること。
- サ 3P コンセントを採用し、長時間のシーケンス動作や外部制御が可能なパワーディストリビューターを1台装備すること。
- シ 各機器とネットワーク接続ができること。また、ネットワーク接続には二重以上の冗長性を持たせること。
- ス 既設の EIA 規格特型収納架について、必要な改造を行うこと。外形は特型図面-1 による。架の有効高さは 45U である。
- セ チャイムリモート SW、小型可搬 BOX 及び付属ケーブル 10m を含む特型のチャイムリモートボックスを1台装備すること。押しボタンは音源選択 6 個（ブザー、チャイム 1 から 4 まで及びユーザー設定音源）並びに再生及び停止の計 8 個を配置し、既設の舞台袖操作架に設置された操作パネルのチャイム操作部と同等の機能を有すること。外形寸法及び形状は承認図書によること。
- ソ デジタルオーディオネットワーク及び制御通信用の配線は新設すること。

15 コネクタ盤類改造

- ア 舞台袖下手袖コンセント盤について、16ch 用マルチコネクタを1個追加し、インカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- イ 舞台袖上手袖コンセント盤について、16ch 用マルチコネクタを1個追加し、インカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- ウ 舞台袖下手袖コンセント盤と舞台袖上手袖コンセント盤の間に 16ch マルチケーブルを1本敷設し、上記のマルチコネクタに結線すること。当該

区間の既設配管には余裕がないため、必要な配管を新設すること。参考距離は約 40m である。

- エ 演出家席コンセント盤のインカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- オ 客席 PA ブース盤のインカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- カ 調光室コンセント盤のインカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- キ I/O パッチ盤架のインカムを 6P から 3P×2 へ変更すること。
- ク I/O パッチ盤架の既設マルチ回線 6 系統について、マルチコネクタを各 1 個（計 6 個）追加すること。結線の詳細は音響システム系統図 1 によること。
- ケ 本章の各改造は特型とし、詳細は特型図面-4 及び特型図面-5 並びに承認図書によること。

16 インカムコネクタプレート更新

- ア ピンルーム（4 か所）の特型インカムコネクタプレート（3P×2）を計 4 面更新すること。

17 移動型音響調整卓

- ア 16 入力、8 出力以上の物理インターフェース、MIX バス 6、マトリクスバス 2、ステレオバス 1 以上、96kHz 対応仕様を持つコンパクトなデジタルミキシングコンソールを 1 台装備すること。音響調整卓との接続連携が可能なこと。
- イ 当該デジタルミキシングコンソール用のダストカバーを 1 台付属させること。
- ウ 当該デジタルミキシングコンソール用のセミハード仕様の収納ケースを 1 つ付属させること。

18 移動型 I/O ボックス

- ア 32 入力、16 出力及び AES/EBU 4 出力を持つ入出力ボックスを 1 台装備すること。専用ケースを含むこと。音響調整卓、移動型音響調整卓ともに接続及び連携運用が可能なこと。

19 移動式小型スピーカー

- ア 高耐入力（PGM550W）、最大再生音圧レベル 124dB 以上、指向角度 90°×60°、合成樹脂（PP）素材、質量 15.4kg 程度の仕様を持つ 12 インチ 2Way フルレンジスピーカーを 8 台用意すること。
- イ 可動範囲 1385mm～2180mm、耐荷重 50kg 以上の堅牢なスピーカースタ

ンドを 4 本用意すること。

ウ 周波数特性 95Hz～20kHz、最大 SPL121dB 以上、指向角 110° 軸対称の性能を持つコンパクトなパッシブ 2Way 同軸スピーカー（LF5 インチ、HF1 インチ）を 10 台用意すること。

エ 上記スピーカー専用のこの字金具を 10 台分用意し、取り付けること。

20 移動式サイドスピーカー

ア 最大音圧レベル(Peak) 136dB 以上、周波数特性 59Hz～20kHz、LF12 インチ、HF3 インチ、指向角度 90° x60° を満たし、点音源特性に優れた同軸構造を有する高品位スピーカーを 3 台用意すること。

21 インターカム装置

ア 1ch のベルトバックを 6 台装備すること。

イ 上記ベルトバックに対応した片耳型、マイクブームスイッチ付、軽量（重量 240g 程度）のヘッドセットを 8 台装備すること。

ウ インターカムの主装置となる 2ch 仕様のスピーカー内蔵型メインステーションを 1 台装備する。

エ 2ch の同時会話（発話・受話）に対応したボックスに収納された移動型のスピーカーステーションを 3 台備えること。コネクターはキャノン 3P タイプとする。

オ ベルトバックとヘッドセット間を 3m 延長できるケーブルを 6 本装備すること。

22 上手袖カメラ

ア フル HD 相当の解像度を持つ高精細カラーカメラを 1 台備える。赤外線ライトも搭載し、暗視状態での確認もできること。

イ カメラメーカー純正の取付金具（又はこれと同等以上のもの）を備え、設置すること。設置方法及び取付位置は承認図書によること。

ウ 上記用のカメラ電源を音響調整室内へ設置すること。またカメラとカメラ電源間の配管配線は新設すること。舞台上手袖のカメラ位置から音響調整室までの参考距離は約 30m である。

エ 上記カメラ映像確認用のフルハイビジョン対応液晶ディスプレイを 1 台、音響調整室内に設置すること。

オ ディスプレイ用の取付金具（VESA 規格に対応した市販品）を含むものとする。

23 ケーブル・保守部品類

- ア XLR3 ピンコネクター対応、1m のマイクパッチケーブルを 30 本装備すること。ケーブル色は黄色とすること。
- イ XLR3 ピンコネクター対応、1.5m のマイクパッチケーブルを 30 本装備すること。ケーブル色は黄色とすること。
- ウ Cat6A、STP の 10m の LAN ケーブルを 6 本装備すること。両端はイーサコン仕様とし、デジタルオーディオネットワークに対応すること。
- エ Cat6A、STP の 20m の LAN ケーブルを 4 本装備すること。両端はイーサコン仕様とし、デジタルオーディオネットワークに対応すること。
- オ 補修用の 3 ピンオスキャノンコネクタープラグ（黒色、金メッキ仕様）を 100 個装備すること。
- カ 補修用の 3 ピンメスキャノンコネクタープラグ（黒色、金メッキ仕様）を 100 個装備すること。
- キ 業務用スピーカー（スピコン）、5 PIN DIN、BNC、XLR、TRS、RCA のケーブルテストを行えるオーディオラインテスターを 1 台装備すること。
- ク USB Type-C コネクターから有線 LAN アダプターに変換するケーブルを 2 個装備すること。
- ケ ボディーパック型トランスミッターを収納し、演者に固定させるための布製ポーチを 28 個装備すること。

第 7 納入仕様書

受注者において本整備を網羅した納入仕様書（承認図書）を作成し、発注者の承諾を施工前に得ること。また全て日本語で作成すること。ただし、日本国においても、英字で表記されることが一般的な文言については、そのまま記載しても構わないものとする。

第 8 納入成果物

納入成果物は、全て日本語で作成すること。ただし、日本国においても、英字で表記されることが一般的な文言については、そのまま記載しても構わないものとする。

- 1 納入機器取扱説明書 3 部
- 2 保証書 1 部
- 3 納入機器一覧表（型式、製造番号を含む。） 1 部
- 4 完成図書（配管ルート、総合試験結果を含む。） 2 部
- 5 納入完了報告書 1 部
- 6 機器設定データ一式（デジタルマルチプロセッサー、デジタルミキシン

グコンソール、パワーアンプ、制御用ソフトウェア等に関する最終的なコンフィグレーション・ファイル、プロジェクトデータソース、IP アドレス管理表、およびシステムアクセスに必要なすべてのパスワード情報を保存した電子媒体) 1 部

なお、機器設定データ一式については、発注者が将来にわたり無償で自由に編集・改変できるよう、編集ロック・プロテクトの解除等を含むすべてのアクセス権限を引き渡すこと。

第 9 検収

設備整備、調整等の作業終了後、発注者において受注者立会いの上、検収を実施するので「第 8 納入成果物」に則って、成果物を提出すること。検査の結果、納品内容の全部又は一部に不合格品が発生した場合は、受注者は直ちに必要な修正を行い、指定した日時までに納入を完了すること。

第 10 契約不適合責任

検収後 1 年間において、納入機器及び納入成果物に本調達の内容に適合しないものがあることが判明した場合には、受注者の責任及び負担において、発注者が相当と認める期日までに補修を完了するものとする。

第 11 その他

- 1 納入する機器は、運用時間として終日連続して使用できる精度と、耐久性、信頼性を持つこと。また、将来的な拡張性を有する設備であること。
- 2 本整備の完了後に、専用の音響測定システムを用いた客観的指標に基づく以下の総合試験を実施し、調整を行うこと。総合試験による客観的測定結果を「総合試験結果報告書」として提出すること。
 - (1) ネットワーク試験（レイテンシの測定および主回線断線時のフェイルオーバー機能の正常動作確認）
 - (2) 音響特性試験（客席の代表的な複数エリアにおける、暗騒音レベル測定、周波数特性のフラットネス確認、および最大音圧レベルにおける歪みのない再生の確認）
- 3 機器の搬入、据付、配線、接続、調整、既設機器の撤去・処分、納入機器の保証及び総合試験に要する費用は、受注者側の負担とする。
- 4 作業日程は、発注者と別途協議すること。設置場所及び作業について、受注者は、発注者の指示に従うこと。
- 5 電源設備は、発注者の指示する電源盤及びコンセントを使用するこ

と。

- 6 本整備に伴い更新対象となる既設機器及び既設配線等の撤去作業は、受注者が行うものとする。撤去及び調達に伴い発生する廃棄物については、受注者によって適正な方法により構外において処分すること。また、適切に処分したことを証明する書類（産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し、廃棄請負業者が発行する廃棄証明書等）を提出すること。
- 7 「同等以上のもの」の提案を行う場合、応札者は本仕様書に記載された各機器の性能要件（入出力数、最大 SPL、周波数特性、ネットワーク互換性プロトコル、処理レイテンシ等の数値）の全項目を満たす、または上回ることを証明する技術資料（メーカー発行のデータシート、音響測定データ等）を入札時に提出すること。発注者は提出された技術資料の数値的根拠に基づき、客観的に同等以上であるかを判定する。
- 8 この物品の受注者は、文部科学省発注工事請負等契約規則（平成 13 年文部科学省訓令）別記第 3 号物品供給契約基準、本仕様書に基づき物品を納入すること。
- 9 世界的半導体不足や物流の混乱等の不可抗力により、納入期限までに指定機種または同等以上のものの調達が著しく困難であることが合理的な書面をもって証明された場合、受託者は直ちに発注者と協議を行うこと。劇場の運営に支障をきたさない範囲において、受託者の負担による暫定的な代替機の設置運用、または双方合意に基づく最新の後継機種・同等以上のものへの仕様変更を認めるものとする。
- 10 配線の敷設にあたっては既設配管を使用することとし、既設配管に余裕がない場合は、必要な配管を新設すること。配線の経路及び長さは、受注者が施工前に現地確認のうえ決定すること。新設する配管の種別及び支持方法は、承認図書によること。

	機 器 名 称	内 容	メーカ－	型 番	数 量	備 考	特型図面
A	小劇場音響システム						
1	音響調整卓				1 式		
	1) デジタルミキシングコンソール	32 IN / 16 OUT	YAMAHA	DM7	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) 拡張コントローラー	DM7シリーズ用	YAMAHA	DM7 Control	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	3) Dante / MADIコンバーター		DirectOut Technologies	EXBOX.MD	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	4) バークラフメーター	32ch、MADI入力	FourBit	MB-532	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	5) 取付金具		特型		1 組		
	6) 調整卓置台	ハーネス含む	特型		1 台		
2	モニタースピーカー				1 式		
	1) スピーカー	3Wayパワード型	GENELEC	8331AM	2 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) 取付金具	パイプ取付	GENELEC	8000-446B	2 台	又はこれと同等以上のもの（取付先パイプ径への適合を現地確認のこと）	
3	音響用モニターディスプレイ				1 式		
	1) メーター表示モニター	FULL HD、23型	EIZO	FDF2307W	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) マルチプロセッサー用モニター	FULL HD、23型	EIZO	FDF2307W	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	3) 取付金具	自立スタンド式、3面取付可、キャスト付、うち1面縦置き対応			1 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件を満たすものとする。	
4	制御機器類				1 式		
	1) ワイヤレスLANアクセスポイント	アンテナ内蔵	YAMAHA	WLX322	2 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) タブレットPC	13インチ 128GB、ケース付	Apple	13インチiPad Air 128GB +Case	2 台	又はこれと同等以上のもの	
	3) 制御用パソコン	ノート型 Windows版			1 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件を満たすものとする。	
	4) 制御用パソコン	デスクトップ型 Windows版			1 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件を満たすものとする。	
5	I/Oパッチ盤架				1 式		
	1) I/Oパッチ盤架改造	回線名称変更、コネクタ追加	特型		1 式	15-6と同一架の改造	特型図面-4参照
6	機器収納架				1 式		
	1) デジタルマルチプロセッサー	Dante入出力、標準64x64	YAMAHA	DME7	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) エアモニ用ミキサー	7in/8in/4out/4Frefx Dante：16in/16out	YAMAHA	DME3	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	3) パッチパネル		特型		1 面		特型図面-2参照
	4) システムリモートパネル	電源/SP/チャイム/非常表示	特型		1 台		特型図面-2参照
	5) メーター表示ユニット	同時表示最大128ch	特型		1 台		特型図面-2参照
	6) 無停電電源	EIA 2U ラックマウント型	APC	SMT1500RMJ2U	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	7) 電源制御部	電源制御、AC100V、ネットワーク対応			1 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件及び音響システム系統図1に示す構成を満たすものとする。	
	8) 端子部	制御架用	特型		2 面		特型図面-2参照
	9) 収納架	EIA規格	特型		3 架	既設再利用を改造	特型図面-2参照
7	パワーアンプ架				1 式		
	1) 入出力ボックス	64入力 64出力（96kHz動作時32入力32出力）	YAMAHA	RSio64-D	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) 入出力カード	AES/EBU 8ch	YAMAHA	MY8-AE96	3 枚	又はこれと同等以上のもの	
	3) パワーアンプ	DSP搭載、1000W x4、20A	L-ACOUSTICS	LA4X	5 台	又はこれと同等以上のもの（一台移動用、堅牢なハードケース1台付属）	
	4) パワーアンプ	300W×8,Danteモデル	YAMAHA	XMS24s8-D	2 台	又はこれと同等以上のもの	
	5) パッチパネル		特型		1 面		特型図面-3参照
	6) LANスイッチ	24ポート ギガビット	YAMAHA	SWX2310-28GT	2 台	又はこれと同等以上のもの	
	7) LANスイッチ	24ポート ギガビット	YAMAHA	SWX3200-28GT	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	8) 取付金具	2U、アクリルカバー付	特型		3 台		
	9) 統合制御部	プログラム製作含む	特型		1 台		特型図面-3参照
	10) メーターディストリビューター		特型		1 台		特型図面-3参照
	11) スピーカー出力制御部	NL4型 SW付、メーターシステム対応			3 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件及び音響システム系統図1に示す構成を満たすものとする。	
	12) 電源制御部	電源制御、AC100V、ネットワーク対応			2 台	メーカー・型番指定なし。仕様書に定める性能要件及び音響システム系統図1に示す構成を満たすものとする。	
	13) 端子部		特型		2 面		特型図面-3参照
	14) 収納架	EIA規格	特型		2 架	既設再利用を改造	特型図面-3参照
	15) 棚板	1U、EIA規格、奥行350mm程度、耐荷重20kg以上			2 枚	又はこれと同等以上のもの	

	機 器 名 称	内 容	メーカ－	型 番	数 量	備 考	特型図面
8	サウンドデーターベース架				1 式		
1)	既設機器撤去、ブランクパネル取付	有効高さ45U分（新設）			1 架	又はこれと同等以上のもの	
9	プロセニアムスピーカー				1 式		
1)	スピーカー	2Way同軸、12インチ+3インチ	L-ACOUSTICS	X12	2 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	取付金具		特型		2 組		
10	サイドスピーカー				1 式		
1)	スピーカー	2Way、5インチx6、1.75インチx3	L-ACOUSTICS	SYVA	2 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	取付金具		特型		2 台		
11	固定FBスピーカー-A（舞台袖）	舞台袖			1 式		
1)	スピーカー	2way、コラム型	Martin Audio	Q44-B	2 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	取付金具		特型		2 台		
12	固定FBスピーカー-B（舞台袖上）	舞台袖上			1 式		
1)	スピーカー	2Wayフルレンジ	YAMAHA	CXR10mk3	2 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	取付金具		特型		2 台		
13	エアモニターマイク	サイドバルコニー			1 式		
1)	コンデンサー型マイク	超指向性	audio-technica	ATM57a	2 本	又はこれと同等以上のもの	
2)	取付金具	防振型	特型		2 台		
3)	マイクケーブル	NEUTRIK、3m	CANARE	EC03-B	2 本	又はこれと同等以上のもの	
14	舞台袖操作架改造（舞台下手袖）	舞台下手袖、収納架は再利用、内部機器組換			1 式		
1)	入出力ボックス	16入力 8出力	YAMAHA	Rio1608-D3	1 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	LANスイッチ	8ポート ギガビット	YAMAHA	SWX2310-10G	2 台	又はこれと同等以上のもの	
3)	LANスイッチ	8ポート ギガビット、PoE給電、インテリジェントL2	YAMAHA	SWX2310P-10G	1 台	又はこれと同等以上のもの	
4)	取付金具	3U、アクリルカバー付	特型		1 台		
5)	パッチパネル	1U	特型		1 面		特型図面-1参照
6)	アナログ/Danteコンバーター	16 c h	TASCAM	ML-16D	1 台	又はこれと同等以上のもの	
7)	パワーアンプ	150W×8	YAMAHA	XMS12s8	1 台	又はこれと同等以上のもの	
8)	システムリモートパネル	電源/SP/チャイム/非常表示	特型		1 台		特型図面-1参照
9)	制御インターフェース		特型		1 台		特型図面-1参照
10)	ウォールマウントコントローラー	ロータリーノブ、ボタン付き 黒	YAMAHA	MCP2B	1 台	又はこれと同等以上のもの	
11)	開演ブザー装置	ステレオバランス、音源付、LAN制御	TASCAM	SS-R250N+音源ソフト	1 台	又はこれと同等以上のもの	
12)	パワーディストリビューター	15A 外部制御端子付	TASCAM	AV-P2803	1 台	又はこれと同等以上のもの	
13)	収納架	EIA規格	特型		1 架	既設再利用を改造	特型図面-1参照
14)	チャイムリモートボックス	チャイムリモートSW、小型可搬BOX、ケーブル付	特型		1 台		
15	コネクター盤類改造				1 式		
1)	舞台袖下手袖コンセント盤改造	マルチコネクター追加、インカム6P→3Px2変更	特型		1 台		特型図面-5参照
2)	舞台袖上手袖コンセント盤改造	マルチコネクター追加、インカム6P→3Px2変更	特型		1 台		特型図面-5参照
3)	演出家席コンセント盤改造	インカム6P→3Px2変更	特型		1 台		特型図面-5参照
4)	客席PAブース盤改造	インカム6P→3Px2変更	特型		1 台		特型図面-5参照
5)	調光室コンセント盤改造	インカム6P→3Px2変更	特型		1 台		特型図面-5参照
6)	I/Oパッチ盤架改造	インカム6P→3Px2変更	特型		1 架	5-1と同一架の改造	特型図面-4参照
7)	16chマルチケーブル	舞台袖下手袖～上手袖間、参考距離約40m			1 本	又はこれと同等以上のもの	
8)	マルチコネクター	既設マルチ回線6系統への追加用			6 個	又はこれと同等以上のもの	
16	インカムコネクタープレート更新	ピンルーム（4か所）			1 式		
1)	インカムコネクタープレート	3Px2	特型	1連 3Px2	4 面		
17	移動型音響調整卓				1 式		
1)	デジタルミキシングコンソール	Dante有モデル	YAMAHA	DM3	1 台	又はこれと同等以上のもの	
2)	ミキサーダストカバー		YAMAHA	DMCVR-DM3	1 台	又はこれと同等以上のもの	
3)	ケース	セミハード仕様	YAMAHA	DMC001-00	1 台	又はこれと同等以上のもの	
18	移動型I/Oボックス				1 式		
1)	入出力ボックス	32入力 16出力、AES/EBU 4出力	YAMAHA	Rio3224-D3+case	1 台	又はこれと同等以上のもの	

	機 器 名 称	内 容	メーカ－	型 番	数 量	備 考	特型図面
19	移動式小型スピーカー				1 式		
	1) スピーカー	2Wayフルレンジ	YAMAHA	CXR12mk3	8 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) スピーカースタンド	1385～2180mm 50kg以上	K&M	ST21300002B	4 本	又はこれと同等以上のもの	
	3) スピーカー		L-ACOUSTICS	5XT	10 台	又はこれと同等以上のもの	
	4) この字金具	5XT専用	L-ACOUSTICS	ETR5	10 台	又はこれと同等以上のもの（取付含む。ボタン取付時は適合クランプ併用）	
20	移動式サイドスピーカー				1 式		
	1) スピーカー	2Way同軸、12インチ+3インチ	L-ACOUSTICS	X12	3 台	又はこれと同等以上のもの	
21	インターカム装置				1 式		
	1) ベルトバック	1ch	Clear-Com	RS-701	6 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) ヘッドセット	片耳型 マイクブームスイッチ付	Clear-Com	CC-100	8 台	又はこれと同等以上のもの	
	3) メインステーション	2ch、スピーカー内蔵型	Clear-Com	MS-702	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	4) スピーカーステーション	2ch、移動型	Clear-Com	KB-722 II +U-BOX-X3	3 台	又はこれと同等以上のもの	
	5) ヘッドセット延長ケーブル	4P、3m	MOGAMI	IHE-03	6 本	又はこれと同等以上のもの	
22	上手袖カメラ	カメラは上手袖、ディスプレイは音響調整室			1 式		
	1) カメラ	固定式、赤外線投光器付	TOA	AH-C1110R3	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	2) 取付金具		TOA	C-BC11	1 台	又はこれと同等以上のもの（設置方法・取付位置は承認図書による）	
	3) カメラ電源	HDMI出力付	TOA	AH-P2001V	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	4) 液晶ディスプレイ	23型、フルHD、HDMI2入力	EIZO	FDF2307W	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	5) 取付金具	VESA100×100対応	ハヤミ工産	MH-451B	1 台	又はこれと同等以上のもの	
23	ケーブル・保守部品類				1 式		
	1) マイクパッチケーブル	NEUTRIK、1m、黄色	CANARE	EC01-B	30 本	又はこれと同等以上のもの	
	2) マイクパッチケーブル	NEUTRIK、1.5m、黄色	CANARE	EC015-B	30 本	又はこれと同等以上のもの	
	3) LANケーブル	Cat6A、STP、10m	digicom	6AEE-CAT6ASTP-10m	6 本	又はこれと同等以上のもの	
	4) LANケーブル	Cat6A、STP、20m	digicom	6AEE-CAT6ASTP-20m	4 本	又はこれと同等以上のもの	
	5) キヤノンコネクタ－	NC3オス	NEUTRIK	NC3MXX-B	100 個	又はこれと同等以上のもの	
	6) キヤノンコネクタ－	NC3メス	NEUTRIK	NC3FXX-B	100 個	又はこれと同等以上のもの	
	7) オーディオラインテスター		WhirlWind	MCT-7	1 台	又はこれと同等以上のもの	
	8) USB Type-C 有線LANアダプター 変換ケーブル	1Gbps	ELECOM	EDC-GUC3V3-B	2 個	又はこれと同等以上のもの	
	9) ボディーバック送信機用ポーチ	UHF-R Wireless用布製ポーチ	SHURE	WA580B	28 個	又はこれと同等以上のもの	
	以下余白						

特型品目説明書

国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備

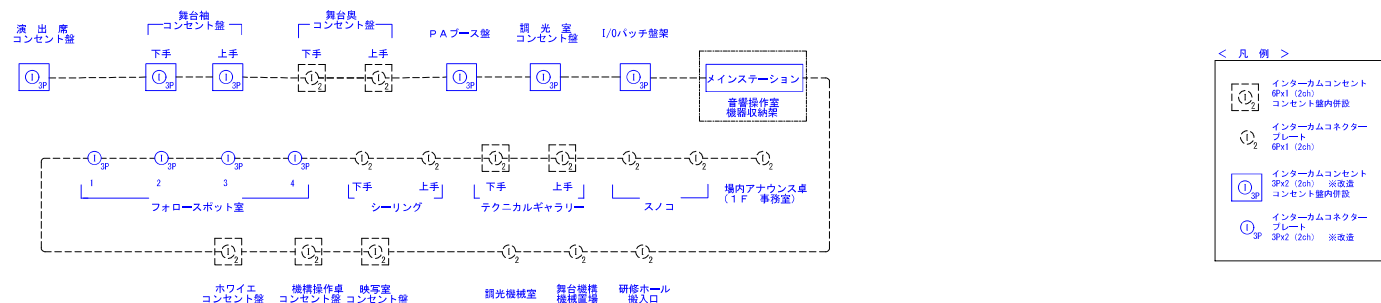
本書は、仕様書「第 6 構成内訳」の各条項に定める特型品目（計 32 件）について、その内容を説明するものである。特型とは、市販の標準品では対応できない本施設固有の製作品・改造品をいう。各品目の形状・寸法は特型図面-1 から特型図面-5 まで及び本書の記載を参考とし、最終仕様は受注者が現地実測のうえ納入仕様書（仕様書第 7、承認図書）により発注者の承諾を得て確定する。なお、本書の内容説明は各品目の理解を助けるための参考であり、要求事項は仕様書本文による。

仕様書該当条項	品名	数量	内容説明	寸法・仕様（参考）	図面・確定方法
1 外形図面のある架・盤類（10 件） ※寸法・構成は各特型図面による					
第 6 の 5 ア 第 6 の 15 キ・ク	I/O パッチ盤架改造	1 架	既設架の回線名称変更、既設マルチ回線 6 系統へのマルチコネクタ各 1 個（計 6 個）の追加、及びインカムコネクタ 6P→3P×2 変更。	H2140×W540×D560	特型図面-4・音響システム 系統図 1・承認図書
第 6 の 6 ケ	収納架（改造）	3 架	既設 EIA 規格架の再利用改造（ケーブル交換・追加、ブランクパネル追加等）。	540×3 連結、H2110×D750	特型図面-2・承認図書
第 6 の 7 ス	収納架（改造）	2 架	既設 EIA 規格架（アンプ架）の再利用改造。	538 幅、H2130×D650	特型図面-3・承認図書
第 6 の 14 ス	収納架（改造）	1 架	既設 EIA 規格架（舞台袖操作架）の再利用改造。	H2100×W540×D650	特型図面-1・承認図書
第 6 の 15 ア・イ	舞台袖コンセント盤改造（下手袖・上手袖）	2 面	16ch 用マルチコネクタ（各 1 個）の追加、及びインカムコネクタ 6P→3P×2 変更。	各盤見付寸法は図面-5	特型図面-5・承認図書
第 6 の 15 エ〜カ	コネクタ盤改造（演出家 席・客席 PA ブース・調光 室）	3 面	各盤のインカムコネクタ 6P→3P×2 変更。	同上	特型図面-5・承認図書
2 特型図面の中に構成として示す架内機器（11 件） ※各架外観図の機器配置帯を参照					
第 6 の 6 ウ	パッチパネル	1 面	機器収納架内の音声・制御回線パッチ。回線構成は音響システム系統図 1 による。	EIA 規格ラックマウント	特型図面-2・音響システム 系統図 1
第 6 の 6 エ	システムリモートパネル	1 台	電源統括・スピーカー出力 ON/OFF・開演ブザー操作・非常表示のネットワーク対応操作パネル。	同上	特型図面-2・承認図書
第 6 の 6 オ	メーター表示ユニット	1 台	各パワーアンプ出力レベルの一括表示（最大 128ch）。表示レイアウト製作含む。	同上	特型図面-2・承認図書
第 6 の 6 ク	端子部	2 面	制御架用端子盤。回線構成は音響システム系統図 1 による。	同上	特型図面-2・音響システム 系統図 1
第 6 の 7 オ	パッチパネル	1 面	パワーアンプ架内の回線パッチ。回線構成は音響システム系統図 1 による。	同上	特型図面-3・音響システム 系統図 1
第 6 の 7 ク	統合制御部	1 台	音響システム全体の電源・出力制御等の集中信号処理装置。制御プログラム製作含む。	同上	特型図面-3・承認図書
第 6 の 7 ケ	メーターディストリビュータ	1 台	各パワーアンプの出力レベル信号の集中処理・分配装置。	同上	特型図面-3・承認図書

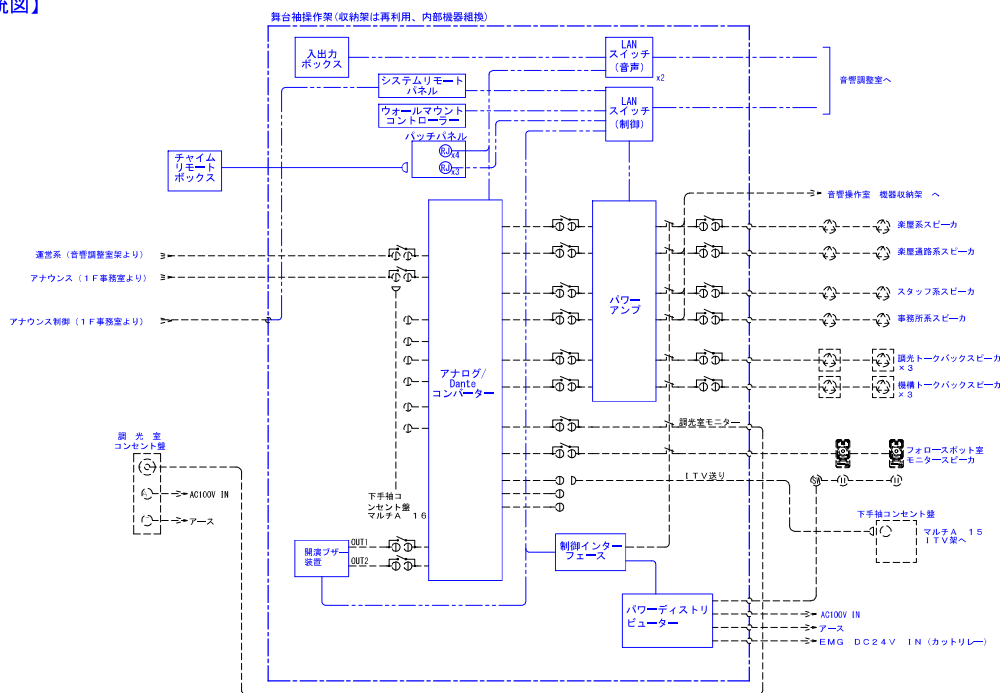
仕様書該当条項	品名	数量	内容説明	寸法・仕様（参考）	図面・確定方法
	—				
第 6 の 7 シ	端子部	2 面	PA 架用 32ch 端子盤。	同上	特型図面-3・音響システム 系統図 1
第 6 の 14 エ	パッチパネル	1 面	舞台袖操作架内の回線パッチ（1U）。	1U	特型図面-1・音響システム 系統図 2
第 6 の 14 キ	システムリモートパネル	1 台	第 6 の 6 エと同機能の舞台袖用操作パネル。	EIA 規格ラックマウント	特型図面-1・承認図書
第 6 の 14 ク	制御インターフェース	1 台	既設スピーカー出力制御部・パワーディストリビューター制御用の変換装置。	同上	特型図面-1・承認図書
3 個別説明による品目（11 件） ※取付先の現地条件に依存するため外形図は承認図書で確定					
第 6 の 1 エ	取付金具	1 組	パーグラフメーターを音響調整卓直近に設置するための取付金具一式。	卓構成に応じ承認図書で確定	本書・承認図書
第 6 の 1 オ	調整卓置台	1 台	音響調整卓を設置する置台。配線引込用ハーネス含む。高さは舞台面への サイトラインを考慮し協議による。	W1,660×D825×H680 程度（現 況実測参考値）	本書・協議・承認図書
第 6 の 7 キ	取付金具	3 台	LAN スイッチ等の小型機器を EIA 架にマウントし、前面をアクリルカバー で保護するラックマウント金具。	2U、アクリルカバー付	本書・承認図書
第 6 の 9 イ	取付金具（プロセニアムスピー カー用）	2 組	プロセニアムスピーカーの取付金具。防振・落下防止措置、背面遮光処 理、施工後の角度微調整が可能な構造とする。	取付部条件は現地調査による	本書・現地調査・承認図書
第 6 の 10 イ	取付金具（サイドスピーカー 用）	2 台	サイドスピーカーの取付金具。	同上	本書・現地調査・承認図書
第 6 の 11 イ	取付金具（固定 FB スピーカ ーA 用）	2 台	舞台袖コラム型スピーカーの取付金具。	同上	本書・現地調査・承認図書
第 6 の 12 イ	取付金具（固定 FB スピーカ ーB 用）	2 台	舞台袖上スピーカーの取付金具。落下防止対策を講じる。	同上	本書・現地調査・承認図書
第 6 の 13 イ	取付金具（エアモニターマイ ク用）	2 台	バルコニー設置のエアモニターマイク用防振型取付金具。	同上	本書・現地調査・承認図書
第 6 の 14 ウ	取付金具	1 台	第 6 の 7 キと同構造の舞台袖操作架用ラックマウント金具。	3U、アクリルカバー付	本書・承認図書
第 6 の 14 セ	チャイムリモートボックス	1 台	チャイムリモート SW・小型可搬ボックス・接続ケーブル 10m で構成する 可搬型遠隔操作器。開演ブザー装置（第 6 の 14 コ）を舞台袖等から遠隔操 作する。	小型可搬（詳細は承認図書）	本書・承認図書
第 6 の 16 ア	インカムコネクタープレート	4 面	ピンルーム 4 か所のインカム接続口プレート（XLR3P×2 口）。	1 連スイッチプレートサイズ	本書・音響システム系統図 2・現地確認・承認図書

注 1 「承認図書」は仕様書第 7 に定める納入仕様書をいい、受注者は施工前に発注者の承諾を得ること。 注 2 寸法は現地実測による参考値であり、受注者は施工前に現地実測により確認すること。

【インターカム設備系統図】



【トークバック設備系統図】

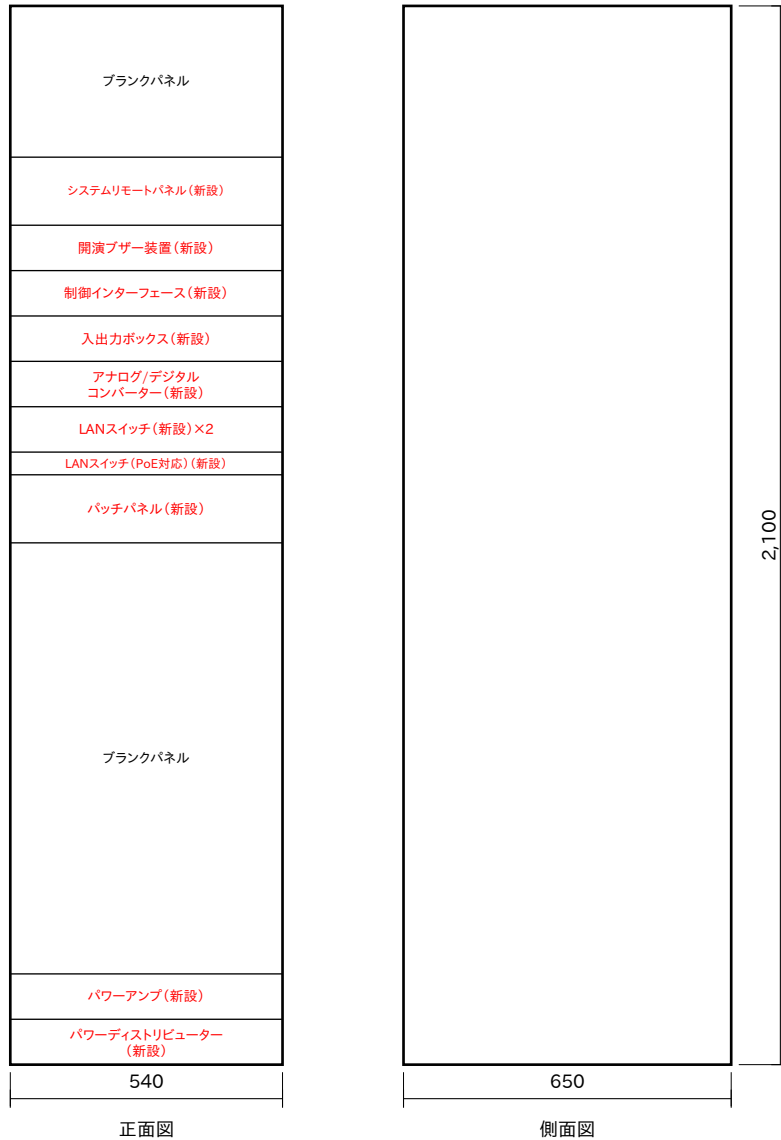


【上手袖カメラ設備系統図】 ※新設



舞台袖操作架(下手袖)外観図

(寸法単位:mm / 本図は参考図であり縮尺によらない)



注記

1. 寸法は現地実測による参考値(EIA規格ラック)である。受注者は現地実測により確認のこと。
2. 架本体は既設再利用とし、内部機器の組換を行う。架内に収納する機器はすべて新規納入品(図中「(新設)」)である。
3. 機器配列は参考例であり、実装配列は受注者が納入仕様書(承認図書)により提案し、発注者の承諾を受けること(仕様書第7による)。
4. 架外機器(ウォールマウントコントローラー＝壁面設置、チャイムリモートボックス＝可搬式)は本架に収納しない。
5. 機器名称は一般名称であり、特定の商標・型番を指定するものではない。
6. 架の有効高さは45Uである。

件名	国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備
図面名称	舞台袖操作架(下手袖)外観図
種別・図番	特型図面-1
縮尺/作成	ノンスケール(参考)/ 令和8年7月

機器収納架(音響調整室)外観図

(寸法単位:mm / 本図は参考図であり縮尺によらない)

機器収納架1	機器収納架2	機器収納架3
ブラックパネル	メーター表示ユニット(新設)	ワイヤレス受信機(既設)
パッチパネル(新設)	デジタルマルチ プロセッサ(新設)	ブラックパネル
		アンテナ分配器(既設)
ブラックパネル		ワイヤレス受信機(既設)
制御用パソコン (デスクトップ型)(新設)・棚	棚(既設)	ブラックパネル
	インターカムメイン ステーション(新設)	システムリモート パネル(新設)
	棚(既設)	棚(既設)
		LANスイッチ(既設)
書き物台(既設)		エアモニ用ミキサー(新設)
ブラックパネル	ブラックパネル	棚(既設)
		マイクプリアンプ(既設)
電源制御部(新設)		ブラックパネル
	無停電電源(新設)	
	端子部(新設)	端子部(新設)
540	540	540
1,620		

正面図

	2,110
750	

側面図

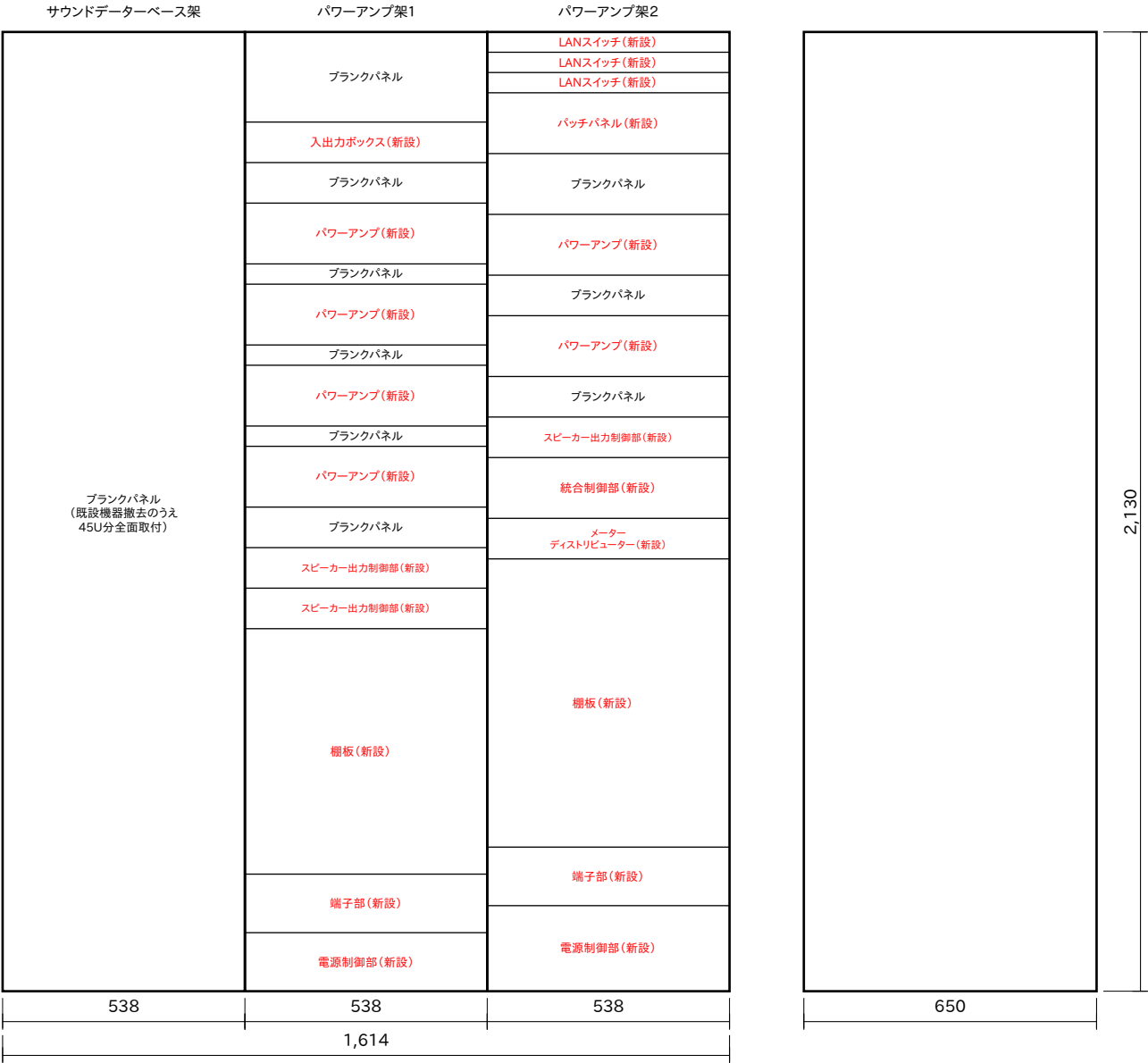
注記

1. 本図は参考図であり、寸法は現地実測による参考値(EIA規格ラック)である。受注者は施工前に現地実測により確認すること。各架の有効高さは45Uである。
2. 架本体(3架連結)は既設再利用とし、内部機器の組換を行う。図中「(既設)」と表記した機器は既設再利用品、「(新設)」と表記した機器は新規納入品である。
3. 機器配列は参考例であり、実装配列は受注者が納入仕様書(承認図書)により提案し、発注者の承諾を受けること(仕様書第7による)。
4. 機器名称は一般名称であり、特定の商標・型番を指定するものではない。

件名	国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備
図面名称	機器収納架(音響調整室)外観図
種別・図番	特型図面-2
縮尺/作成	ノンスケール(参考)/ 令和8年7月

パワーアンプ架・サウンドデーターベース架(音響調整室)外観図

(寸法単位:mm / 本図は参考図であり縮尺によらない)



正面図

側面図

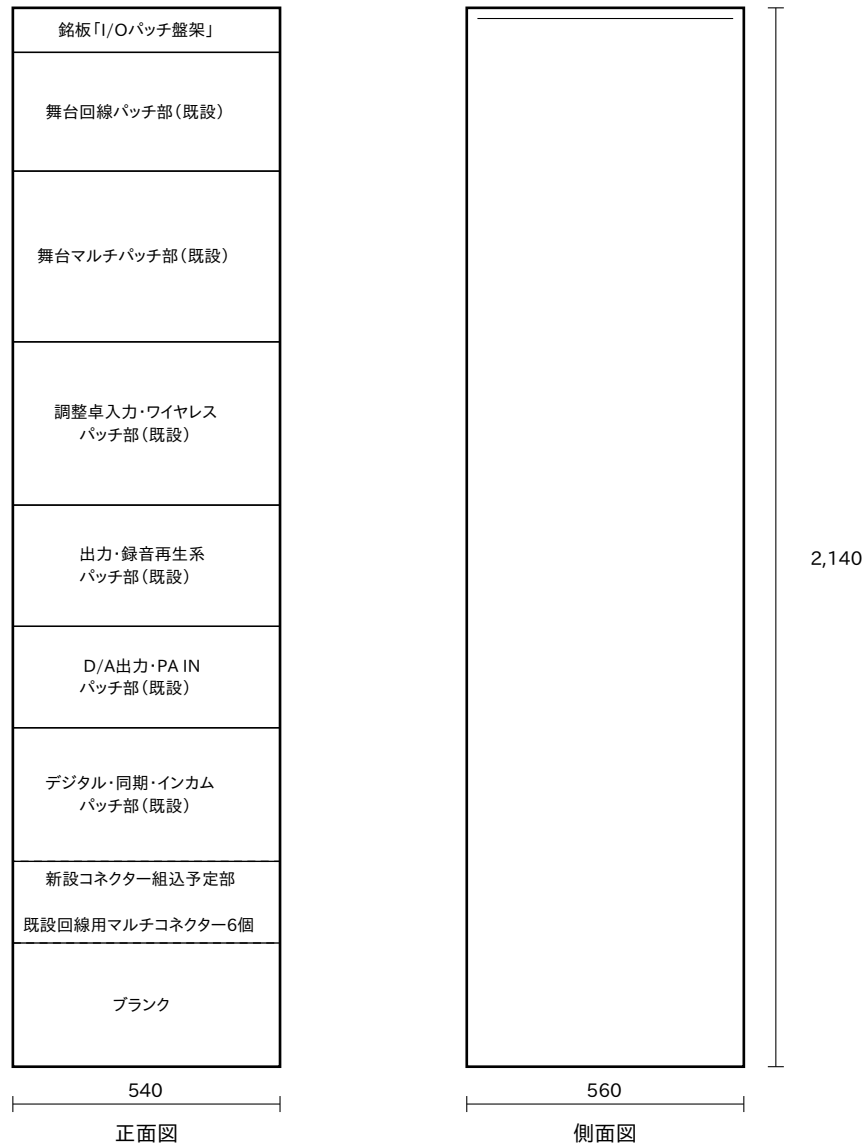
注記

1. 本図は参考図であり、寸法は現地実測による参考値(EIA規格ラック)である。受注者は施工前に現地実測により確認すること。各架の有効高さは45Uである。
2. 架本体(3架連結)は既設再利用とする。パワーアンプ架は内部機器の組換を行い、架内機器はすべて新規納入品(図中「(新設)」)である。サウンドデーターベース架は既設機器を撤去のうえ、有効高さ45U分の全面に新設のブランクパネルを取り付ける。
3. 機器配列は参考例であり、実装配列は受注者が納入仕様書(承認図書)により提案し、発注者の承諾を受けること(仕様書第7による)。
4. 機器名称は一般名称であり、特定の商標・型番を指定するものではない。

件名	国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備
図面名称	パワーアンプ架・サウンドデーターベース架 外観図
種別・図番	特型図面-3
縮尺／作成	ノンスケール(参考)／ 令和8年7月

I/Oパッチ盤架 外観図(改造・既設再利用)

(寸法単位:mm / 本図は参考図であり縮尺によらない)



注記

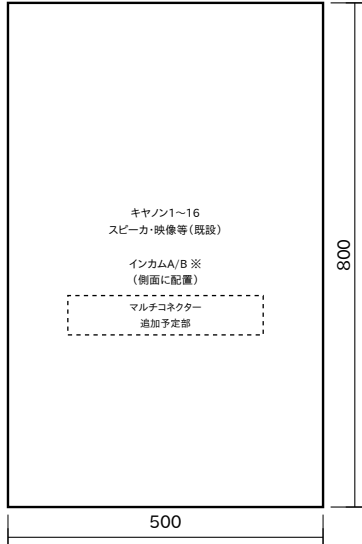
1. 寸法は現地実測による参考値である。受注者は現地実測により確認のこと。
2. 架本体および既設パッチパネル・既設配線は既設再利用とし、本工事では回線名称の変更及びコネクターの追加、インカムの6Pから3P×2への変更、既設マルチ回線6系統へのマルチコネクター各1個(計6個)の増設を行う(詳細は仕様書及び音響システム系統図1による)。
3. 図中の破線部は新設コネクターの組込予定部を示す参考例であり、取付位置・取付方法は受注者の納入仕様書(承認図書、仕様書第7)にて確認のこと。
4. 機器名称は一般名称であり、特定の商標・型番を指定するものではない。

件名	国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備
図面名称	I/Oパッチ盤架 外観図(改造)
種別・図番	特型図面-4
縮尺／作成	ノンスケール(参考)／ 令和8年7月

コネクター盤類改造(5面)外観図

(寸法単位:mm / 本図は参考図であり縮尺によらない)

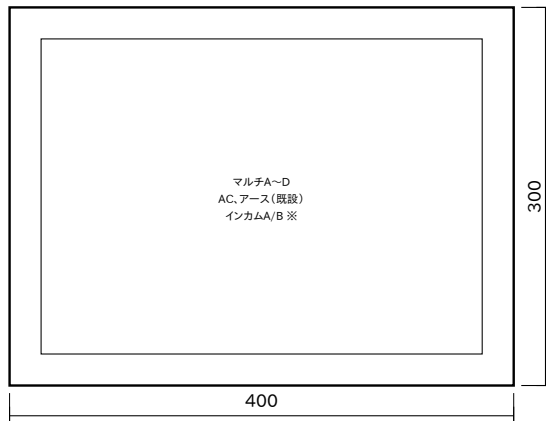
① 舞台袖下手袖コンセント盤
(舞台下手袖・自立箱型・奥行き250)



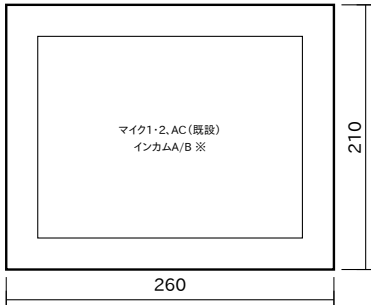
② 舞台袖上手袖コンセント盤
(舞台上手袖・自立箱型・奥行き250)



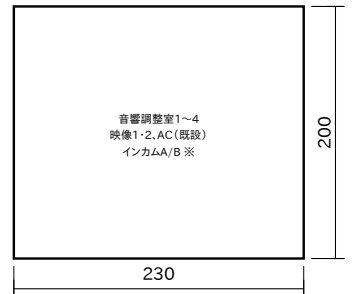
④ 客席PAブース盤
(客席上手・床埋込・座席下)



③ 演出家席コンセント盤
(客席中央・床埋込)



⑤ 調光室コンセント盤
(調光室・壁埋込・見込み40)



注記

1. 寸法は現地実測による参考値(見付寸法)である。受注者は施工前に現地実測により確認すること。
2. 各盤は既設再利用とし、※印のインカムコネクターを6Pから3P×2へ変更する。舞台袖下手袖および上手袖コンセント盤にはマルチコネクターを追加する(図中破線部は組込予定部の参考例)。
3. 新設コネクターの取付位置・取付方法および結線は、受注者の納入仕様書(承認図書、仕様書第7)にて確認のこと。既設配線および既設回線は既設再利用とする。
4. 機器名称は一般名称であり、特定の商標・型番を指定するものではない。

件名	国立劇場おきなわ小劇場音響調整卓等設備整備
図面名称	コネクター盤類改造 外観図
種別・図番	特型図面-5
縮尺／作成	ノンスケール(参考) / 令和8年7月